

2009年8月3日

各政党殿

子育て環境や、子育て世代の父親に関するアンケートのお願い

特定非営利活動法人ファザーリング・ジャパン

拝啓

盛夏の候、貴党ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、私たち「ファザーリング・ジャパン」は、“父親の育児に関する支援活動”を全国的に行っている日本で唯一のNPO法人です。(末尾に法人紹介を記載しましたのでご参照下さい)

この度、私どもは衆議院議員選挙において、各党が「子育て環境や、子育て世代の父親」に対してどのような政策をお考えになっておられるかをお尋ねしたく、また有権者に対して投票を決める参考資料として提供するために、別紙のアンケートを行うこととなりました。

皆様方にはご多忙中のところ誠に恐縮ですが、当該アンケートにご回答いただきたくよろしくお願いたします。

尚、頂いたアンケート回答につきましては、有権者にも情報を提供するために、ファザーリング・ジャパン及びその連携先団体のホームページ上での公開や、マスコミ等への配布を予定しておりますので何卒ご了承下さい。

アンケートにつきましては、選挙日程から逆算しまして、8月10日までにご回答の上ご返信いただければ幸甚です。

敬具

アンケート実施団体 : NPO法人 ファザーリング・ジャパン
連絡先 : 代表 安藤 哲也
Tel/Fax 050-8884-4252
Email info@fathering.jp

アンケートご返送先 : 〒113-0021 文京区本駒込 1-3-2-307
※同封の「返送用封筒」をご使用ください

子育て環境と、子育て世代の父親に関する政党アンケート

貴党名 : _____

連絡先 : _____ (メールや電話番号とご担当者名)

(所定の回答欄ではスペースが足りない場合は、別紙にご記入いただき回答をお送り下さい)

(課題1) 保育園の待機児童や学童保育問題

保育所に入れない待機児童が4万人(08年10月現在)にもものぼり、ベビーホテルなどに預けられている子どもなどの潜在的待機児童も含めると100万人にも達すると言われています。また、学童保育の利用者数も増えていますが、働く父母たちのニーズを満たすにはまだ多くの課題があります。危険度が増している子どもの外遊びを減らさざるを得ない一方、働く母親が増え、核家族化が進んでいる現状下、保育所や学童施設をより充実させていくことは、最重要課題の一つであることは疑う余地がございません。

そこで、保育所の待機児童問題や、学童保育の充実化について貴党の見解をお伺いします。

質問	回答
1-1) 認可保育所数や学童保育の制度は、現状でも十分だとお考えですか？	イ) 十分 ロ) 十分ではないが、現状で満足すべき ハ) 多少改善すべき ニ) 大きな課題だと考えている
1-2) 上記1-1)でハ)若しくはニ)とお答えの政党にお聞きします。 具体的な問題や課題、及びその原因は何でしょうか？	(自由記入欄)
1-3) 上記1-2)を解決するための、貴党がお持ちの政策を、より具体的に数値や時期などの「定量」を含めてご開示下さい。	(自由記入欄)
1-4) 上記1-3)の貴党政策を、8月衆	イ) 確約(コミット)する ロ) 確約する方向で検討する

議院選挙のマニフェストとして、国民に対し「確約」致しますか？

ハ) 確約できない

（課題2）子どもの貧困問題

高校から大学までにかかる子ども一人当たりの費用は平均 1,000 万円を超え、教育費が年収の 3 割以上にもなっていると言われていています（日本政策金融公庫調査）。一方、貧困と格差の広がりにより、経済的理由で退学を余儀なくされている学生も増えております。

また、義務教育期間中の公立小中学校に通う子どもの中には、修学旅行費が払えないので参加できないという事例も散見されています。

将来の日本を担う子どもたちには、教育を受ける権利がある中、親の貧富の差が子どもの教育機会に大きく影響を及ぼすことは、更なる貧困問題にも繋がることは疑う余地がございません。

そこで、教育費の補助などについて貴党の見解をお伺いします。

質問	回答
2-1) 国や行政の支出に占める教育費の割合やその制度は、現状でも十分だとお考えですか？	イ) 十分 ロ) 親の貧困が影響するのは致し方無く現状で満足すべき ハ) 支出割合を多少増やし改善すべき ニ) 支出割合を大きく増やし抜本的に改善すべき
2-2) 教育費補助は、貧困家庭向けを中心に実施すべきですか？	イ) 貧困家庭向けを中心に実施すべき ロ) 親の年収とは関係なく一律で実施すべき ハ) 上記イ)とロ)の折衷案
2-3) 貴党の、子ども向け教育費などを含めた子どもの貧困問題に関する政策をお持ちですか？ お持ちの場合、その内容をより具体的に数値や時期などの「定量」を含めてご開示下さい。	(自由記入欄)
2-4) 上記 2-3)の貴党政策を、8 月衆議院選挙のマニフェストとして、国民に対し「確約」致しますか？	イ) 確約 (コミット) する ロ) 確約する方向で検討する ハ) 確約できない

(課題 3) 公立学校問題

日本の子供たちの学力が低下の一途をたどっており、子どもにとっての「大切な学びである遊び」の時間を奪う塾通いが、小学生低学年にも広がってきています。

一方、公立小中学校の教職員は、教育委員会からのアンケート調査など「国民感情からすれば無駄」としか思えない事務的な書類業務が急増し、労働環境は悪化、子どもたちと接する時間が激減しているというのが実態です（教員の残業時間は40年間で4倍に、1日あたりの休憩時間はわずか14分間（文部科学省「平成18年度教員勤務実態調査」））。

教職員が生徒に接する時間を増やすことや、大切な遊びの時間を子どもたちに戻してあげることが喫緊の課題であり、GPDに占める学校教育費比率がOECDの中で下から2番目の2.9%（「OECD 図表で見る教育 2008年度版」）という日本において、公立小中学校には抜本的な改善が必要だということは疑う余地がございません。

そこで、公立学校問題について貴党の見解をお伺いします。

質問	回答
3-1) 国や行政による公立学校関連の施策は、現状でも十分だとお考えですか？	イ) 十分 ロ) 十分ではないが、現状で満足すべき ハ) 多少改善すべき ニ) 大きな課題だと考えている
3-2) 上記3-1)でハ)若しくはニ)とお答えの政党にお聞きします。 具体的な問題や課題、及びその原因は何でしょうか？	(自由記入欄)
3-3) 上記3-2)を解決するための、貴党がお持ちの政策を、より具体的に数値や時期などの「定量」を含めてご開示下さい。	(自由記入欄)
3-4) 上記3-3)の貴党政策を、8月衆議院選挙のマニフェストとして、国民に対し「確約」致しますか？	イ) 確約（コミット）する ロ) 確約する方向で検討する ハ) 確約できない

(課題4) 大人が与える子どもへの悪影響問題

アダルト本を平気で売っているコンビニ、子どもに悪影響を及ぼすようなサイト（ネット）、攻撃性や変質性を高めるだけで子どもの育成には何ら役にも立たないようなゲームなど、「金」のため子ども達を犠牲にしている大人や企業が日本には無数に存在しています。

また、各地で変質者が現れ、飲酒や高スピードなどの交通違反は後を絶たず、児童を対象にした犯罪は増える一方です。

屋外での集団遊びや、家族や世代間との交流を奪っているこれら「大人が責任」の諸問題を解決していかない限りは、子ども達の未来も明るくないことは、疑う余地がありません。

そこで、大人による子どもへの悪影響問題について貴党の見解をお伺いします。

質問	回答
4-1) コンビニでのアダルト本、犯罪に繋がった事例の多いサイト、暴力的なゲームなどに対し、規制を強化すべきですか？ その理由とともにお答え下さい。	イ) 強化すべき ロ) すべきではない (回答理由)
4-2) 上記 4-1)で規制を強化すべきという場合、その具体策をお教え下さい。 強化すべきでないという場合、規制強化以外で「大人による悪影響」を減らす具体策をお教え下さい。	(自由記入欄)
4-3) 児童の未来を奪っている交通違反や性犯罪などについて、刑を重くすべきですか？ その理由とともにお答え下さい。	イ) 重くすべき ロ) すべきではない (回答理由)
4-4) 上記 4-3)で刑を重くすべきという場合、年数等の数値も含め具体策をお教え下さい。 重くすべきではないという場合、他の策を具体的にお教え下さい。	(自由記入欄)

<p>4-5) その他、大人が子どもに与えている「悪影響」についての具体的事例と、それへの対応策をお教え下さい。</p>	(自由記入欄)
<p>4-6) 上記のご回答を 8 月衆議院選挙の貴党マニフェストとして、国民に対し「確約」致しますか？</p>	<p>イ) 確約 (コミット) する ロ) 確約する方向で検討する ハ) 確約できない</p>

(課題 5) 児童虐待や DV 問題

児童相談所が 08 年度に対応した児童虐待件数は、過去最多の 4 万件強 (厚生労働省) と年々増えており (11 年間で約 10 倍)、中には児童の死亡に至るケースも散見されています。

相談相手が不在で孤立している母親や、過労によるストレス問題を抱えている父親などの問題とも相関していますが、抜本的な解決策は見出されていません。

また、男性から女性のみならずその逆も増えている家庭内暴力 (DV) が、子どもに悪影響を及ぼしていることから、児童のみならず DV 全体の現況を改善することは、子どもの育成上非常に重要であることは、疑う余地がございません。

そこで、児童虐待や DV 問題について貴党の見解をお伺いします

質問	回答
<p>5-1) 児童相談所や児童福祉司の数や質、及び虐待防止法など、現状の行政や施策内容で十分だとお考えでしょうか？</p>	<p>イ) 十分 ロ) 十分ではないが、現状レベルで妥協すべき ハ) 多少改善すべき ニ) 大きな課題だと考えている</p>
<p>5-2) 上記 5-1) でハ) 若しくはニ) とお答えの政党にお聞きします。 具体的な問題や課題、及びその原因は何でしょうか？</p>	(自由記入欄)
<p>5-3) 上記 5-2) を解決するための、貴党がお持ちの政策を、より具体</p>	(自由記入欄)

的に数値や時期などの「定量」を含めてご開示下さい。	
5-4) 上記 5-3)の貴党政策を、8月衆議院選挙のマニフェストとして、国民に対し「確約」致しますか？	㉔) 確約 (コミット) する ㉕) 確約する方向で検討する ㉖) 確約できない

(課題6) 男性の育児参加、育休切り、及びWLB問題

男性の育児休業の取得率は約 1.6% (07 年度) と先進国の中で最低レベルである一方、育休取得率が約 90% と高い女性もいわゆる“育休切り”という事例が散見されています。つまり、「男は家庭を顧みずに仕事に専念し、女性は専業主婦が当たり前」という旧態依然とした慣習がまだ日本では公然と主流を占めているということです。

また、仕事と生活の調和をとるというワークライフバランス (WLB) は言葉だけが先行し、サービス残業や休日出勤を黙認あるいは強要し、現実的には L (生活) に割く時間が無いという人も多くいます。

改正育児・介護休業法により状況の改善を期待しますが、まだ足りないというのは疑う余地がありません。

そこで、男性の育児参加、育休切り、及びWLBについて貴党の見解をお伺いします

質問	回答
6-1) 改正育児・介護休業法を含め、現状の行政や施策、法制度で十分だとお考えでしょうか？	㉗) 十分 ㉘) 十分ではないが許容範囲だ ㉙) 多少改善すべき ㉚) 大きな課題だと考えている
6-2) 上記 6-1)で㉙)若しくは㉚)とお答えの政党にお聞きします。具体的な問題や課題、及びその原因は何でしょうか？	(自由記入欄)
6-3) 上記 6-2)を解決するための、貴党がお持ちの政策を、より具体的に数値や時期などの「定量」を含めてご開示下さい。	(自由記入欄)

6-4) 上記 6-3)の貴党政策を、8 月衆議院選挙のマニフェストとして、国民に対し「確約」致しますか？	ｲ) 確約 (コミット) する ㇑) 確約する方向で検討する ㇒) 確約できない
--	--

(課題 7) 自殺問題

今年上半期の自殺者数は 1 万 7 千人強と昨年同期比で 770 人近く増え (警察庁)、統計以降過去最多に迫る勢いです。また自殺者全体のうち男性が 7 割以上を占め、仕事によるストレスや家庭問題などが複雑に絡みあっているとも言われています。

一方、いじめを原因とした自殺など、児童の自殺者数も増加の一途をたどっています。

自殺者数を減らすには、社会的セーフティネット、孤立回避、地域内の人的繋がり、相談窓口 (自殺防止センター)、家族や友人などキーワードは多々ありますが、改善の兆しが無いことは疑う余地がございません。

そこで、大人や子どもの自殺問題について貴党の見解をお伺いします

質問	回答
7-1) 自殺防止センターや自殺サイト・用品 (薬) への規制など、現状の行政や施策、法制度で十分だとお考えでしょうか？	ｲ) 十分 ㇑) 十分ではないが許容範囲だ ㇒) 多少改善すべき ㇓) 大きな課題だと考えている
7-2) 上記 7-1)で㇒)若しくは㇓)とお答えの政党にお聞きします。 具体的な問題や課題、及びその原因は何でしょうか？	(自由記入欄)
7-3) 上記 7-2)を解決するための、貴党がお持ちの政策を、より具体的に数値や時期などの「定量」を含めてご開示下さい。	(自由記入欄)
7-4) 上記 7-3)の貴党政策を、8 月衆	ｲ) 確約 (コミット) する ㇑) 確約する方向で検討する

議院選挙のマニフェストとして、国民に対し「確約」致しますか？

ハ) 確約できない

(課題8) 父子家庭問題

母子家庭に比し父子家庭向けの行政支援が少ないことに関する理由を「男なんだから」と述べている行政があること、ご存知でしょうか。国も、「たった」200人以下を対象にしたアンケート調査により「父子家庭の方が母子家庭よりも平均年収が高い」と結論付け、公的支援が少ない理由にしております。しかし、約20万世帯といわれている父子家庭（平成17年度国勢調査）のうち、年収300万未満は全体の約4割（平成18年度厚生労働省全国母子家庭等調査結果報告）。この不況でリストラ等により困窮している家庭はさらに増加し、ランドセルすら買えないという話も耳にします。男女を区別することは構わないが、差別することは避けるべきというのは疑う余地がございません。そこで、父子家庭問題について貴党の見解をお伺いします

質問	回答
8-1) 行政による父子家庭支援は、その金額も制度も現状レベルで十分だとお考えでしょうか？	イ) 十分 ロ) 十分ではないが許容範囲だ ハ) 多少改善すべき ニ) 大きな課題だと考えている
8-2) 上記8-1)でハ)若しくはニ)とお答えの政党にお聞きします。具体的な問題や課題、及びその原因は何でしょうか？	(自由記入欄)
8-3) 上記8-2)を解決するための、貴党がお持ちの政策を、より具体的に数値や時期などの「定量」を含めてご開示下さい。	(自由記入欄)
8-4) 上記8-3)の貴党政策を、8月衆議院選挙のマニフェストとして、国民に対し「確約」致しますか？	イ) 確約 (コミット) する ロ) 確約する方向で検討する ハ) 確約できない

<添付資料> NPO 法人ファザーリング・ジャパンについて

【ビジョン】

「父親になったら、仕事も育児も両立しながら楽しんで生きていきたい」。そうした「Fathering=父親であることを楽しもう」という意識をもった若い世代の男性たちが、いま確実に増えています。

しかし日本の職場や社会の意識は旧態依然のまま。長時間労働を強いる会社と、子育て参加して欲しいと願う妻のプレッシャーに挟まれ、「ワーク・ライフバランス」に苦しんでいるのは、そうした子育て世代の父親たちかもしれません。

カナダでは「父親支援」が政府プロジェクトとして推進され、いまやほとんどの企業は男性の出産・育児休暇を認めています。また「家庭での役割を担っている男性社員ほど、労働者としての生産性も高い」という共通認識があります。

更に、欧米の有力企業は成長性を高める要因のひとつとして、「社員の生活との共生」を掲げ、経営戦略として「ワーク・ライフプログラム」の充実を図り、子育て世代（中核社員）の優秀な人材の確保・流出防止に努めています。

日本の企業も、そこに勤める父親たちが解放、啓発され精神的に成長・自立し、家庭や地域に積極的にコミットするようになれば、社会も大きく変わっていくのではないのでしょうか？

子どもを大切にできる社会は、母親たちのストレスを減少させ、子どもたちに安心と笑顔をもたらします。そして中・長期的にみれば、進む少子化にブレーキがかかったり、大きな社会不安となっている、子どもや女性を取り巻くさまざまな問題・犯罪事件の減少につながっていくのではないかと、私たちは考えます。

Fathering Japan は、父親支援事業による「Fathering」の理解・浸透こそが、「よい父親」ではなく「笑っている父親」を増やし、ひいてはそれが働き方の見直し、企業の意識改革、社会不安の解消、次世代の育成に繋がり、10年後・20年後の日本社会に大きな変革をもたらすということを信じ、これを目的としてさまざまな事業を展開していく、ソーシャル・ビジネス・プロジェクトです。

【組織概要】

- ・団体名称 : 特定非営利法人（NPO 法人） ファザーリング・ジャパン
- ・設立 : 2006年11月 団体発足、 2007年4月 法人設立
- ・連絡先 : 住所 〒113-0021 東京都文京区本駒込 1-3-2-307
Tel/Fax 050-8884-4252
Email info@fathering.jp
HP <http://www.fathering.jp/>
- ・代表者 : 安藤 哲也（詳細次頁）

代表理事 安藤 哲也 プロフィール

【略歴】

1962年生まれ。46歳。現在、11歳（女）8歳（男）、1歳（男）の父親。

明治大学卒業後、出版社に入社。書店営業で全国の書店を歩く。

94年、書店員に鞍替え。東京・大塚の田村書店の3代目店長に。

96年、東京・千駄木の往来堂書店をプロデュース。初代店長を務める。

00年、オンライン書店bk1へ移籍。02年まで店長。

その後、糸井重里事務所を経て、03年、NTTドコモの電子書籍事業へ参画。

04年、楽天ブックスの店長に就任。07年10月退社。

07年11月より絵本ナビ取締役（非常勤）を務める。

06年11月、会社員の傍ら、父親の子育て支援・自立支援事業を展開するNPO法人ファザリング・ジャパン（FJ）を立ち上げ、代表に選出・就任。現在に至る。

地域活動では、娘と息子の通う公立小学校のPTA会長を務めるほか、2003年より、パパ's絵本プロジェクトのメンバーとして、全国の図書館・保育園・自治体等にて、パパの出張絵本おはなし会を開催中。

著書に『パパの極意～仕事も育児も楽しむ生き方』（NHK出版）、『絵本であそぼ！』『この本読んで！PaPa's絵本33』（小学館）、『本屋はサイコー！』（新潮社）、翻訳絵本に『ぼくとおとうさんのテッド』『ジミーのムーンパイ・アドベンチャー』（文溪堂）がある。現在、読売新聞にコラム「パパ入門」を連載中。NHK「ラジオビタミン」の子育てコーナーにもレギュラー出演中。

★安藤代表ブログ <http://ando-papa.seesaa.net/>

【委嘱協議会等】

- ・小渕内閣府特命担当大臣直轄・ゼロから考える少子化対策プロジェクトチーム
- ・厚生労働省・男性の仕事と育児の両立意識啓発事業委員会
- ・内閣府・少子化社会対策に関する先進的取組事例調査研究会
- ・内閣府・認定こども園制度の在り方に関する検討会
- ・文部科学省・父と子の愛着形成プログラム研究委員会
- ・東京都・次世代育成支援検討会
- ・東京都・子育て応援とうきょう会議
- ・こどもの城・児童館を活用した父親ネットワークづくり事業委員会
- ・文京区小・中学校将来ビジョン策定検討協議会
- ・埼玉県・地域家庭教育推進協議会
- ・千葉県松戸市・男女共同参画推進協議会
- ・電通ジセダイ育成委員会